

洗足池公園の文化財

★洗足池公園 (①)

平成31年、東京都の名勝に指定されました。清水窪湧水などの湧き水や雨水を堰き止めた人工の淡水池です。街道沿いの緑豊かな名所として知られ、江戸時代後期には歌川広重の浮世絵にも描かれました。このような自然環境や歴史、地域の取り組みなどが名勝の指定理由です。

★千束八幡神社と名馬池月之像

八幡神を氏神とする清和源氏の信仰を集めた千束八幡神社には、源義家や源頼朝に関わる伝承が残されています。平家物語の「宇治川の戦い」で佐々木高綱が騎乗した名馬「池月」はこの地で産まれて頼朝の手に渡り、梶原景季の乗る馬込産の名馬「磨墨」と共に活躍したとされています。現在の北千束駅は、昭和3～5年には「池月駅」という駅名でした。



名馬池月之像

勝海舟と洗足池

★勝海舟記念館 (旧清明文庫)

(ご利用案内は地図の面に記載)
国登録文化財。旧清明文庫は、財団法人清明会によって海舟の遺蹟の保存や図書の収集などを目的に昭和3年に建造され、同8年に開館しました。随所にアール・デコ様式の意匠を取り入れた鉄筋コンクリート造の会館建築です。

★勝海舟夫妻墓所

区指定文化財。海舟は新政府軍との交渉に向かう際、洗足池に立ち寄った縁で晩年に別荘「洗足軒」(現大森第六中学校の位置)を構え、友人たちと花鳥風月を愛でたといひます。没後は海舟自身が生前から用意していた池畔の墓所に葬られました。



勝海舟夫妻墓所

★西郷南洲留魂詩碑

西郷隆盛(南洲)の三回忌にあたる明治12年、海舟が自費で建立し、後年現在地に移設されました。南洲が沖永良部島に配流された際に詠んだ漢詩が刻まれています。



西郷南洲留魂詩碑

★妙福寺祖師堂(旧七面大明神堂)

国登録文化財。妙福寺には、日蓮聖人が池のかたわらの老松に法衣をかけ足を洗った際に、七面天女が出現したという「袈裟懸(掛)の松」の伝承が残り、御松庵とも称されています。祖師堂は明治中期に建立されたもので、向拝には伝承にある袈裟と松が彫刻されています。



祖師堂の向拝
(中央に袈裟、両脇に松が彫刻されています)

★馬頭観世音供養塔(妙福寺内)

区指定文化財。天保11年(1840)に道標を兼ねて建立され、後世現在地に移設されました。「北堀之内・碑文谷」「南池上・大師」「東江戸中延」「西丸子稻毛」との銘文が彫られています。



馬頭観世音供養塔

★中原街道改修碑

中原街道は、中世から相模と武蔵を結ぶ主要な街道です。この付近は急坂が多く、物資輸送や交通の難所となっていたため、大正6～12年にかけて改修工事が行われました。当碑はその成功を記念して建立され、銘文には困難を極めた工事の経緯が記されています。

雪谷の文化財

●石橋供養塔 (②)

区指定文化財。安永3年(1774)に雪ヶ谷村の人々によって、呑川にかかる石橋の安泰とその通行人の安全を願って建てられたものです。日蓮宗寺院である照光山円長寺(南雪谷5-5-20)が造立に関わっており、正面には題目「南無妙法蓮華經」が刻まれています。



石橋供養塔

●雪ヶ谷八幡神社 (③)

境内の庚申供養塔群は区指定文化財です。これらは、元々雪ヶ谷村内各所にあった7基が集約されたものです。雪ヶ谷村域には他にも庚申塔が5基現存しており、村内に多くの造立があったことから、庚申信仰が盛んであったと考えられます。



庚申供養塔群の一部

さらに詳しくは、こちら↓もご覧ください！郷土博物館で購入できます。
『大田区歴史散策ガイドブック(雪谷・千束編)』(価格：1,000円)
『大田区の史跡名勝天然記念物』大田区の文化財第36集(価格：2,000円)
『大田区の石造遺物』大田区の文化財第37集(価格：2,000円)